

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(1/7)

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ 目標に向けた取組の進捗	Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
グリーンアジア国際戦略総合特区 (福岡県、北九州市、福岡市)	4.6	進捗度 ・当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高 116%	規制の特例等 ・圧縮水素運送自動車複合容器・附属品に対する刻印方式の特例の創設等 財政支援等 ・グリーンイノベーション研究拠点形成等 地域独自の取組 ・福岡県北部九州自動車産業アジア先進拠点推進事業等	4.8	<ul style="list-style-type: none"> ・順調に実績が上がっていると評価する。 ・水素エネルギーの研究の社会実装展開及びアジアのグリーンビジネス展開は順調に拡大していることがうかがえる。 ・売上高の構成等、事業ごとの補助的な評価指標と数値目標も設定することが必要と判断する。 ・規制の特例措置の活用に関して、一層の努力をすることが期待される。